



21世紀保育ブックス

これからの保育はどの方向へと向かっていくのか。
新しい21世紀の保育を展望しながら必要とされる諸問題を根本的に掘り起こし、
確実に保育者を導き育て、将来の保育への指針を与える新シリーズ！

編集委員 森上史朗（子どもと保育総合研究所代表）
柴崎正行（東京家政大学教授）
柏女霊峰（淑徳大学教授）

最新刊



21世紀保育ブックス⑪

保護者の要望をどう受けとめるか 苦情解決・第三者評価に求められる保護者への説明責任

小笠原文孝 よいこのもり第2保育園

延長保育、休日保育、夜間保育など、子育て支援として園が果たしている機能は、依存性の強い親にしていこうと、決して同義語ではないのです。「子育て支援」とか、「共に育児を考える」ことの根底には、園側の説明責任と応答責任、そして行動責任をもつことがあります。そして親自身が社会的自己責任を獲得して、それを双方が認め合う上に成り立つものだと言えます。園と保護者とが共に育ち、支え合う方法を探ります。

B6判 168頁 定価：本体1,200円＋税



21世紀保育ブックス⑫

保育所と幼稚園～統合の試みを探る

吉田正幸 幼児教育21研究会

保育所と幼稚園は、同じような年齢の子どもを教育・保育する施設であることから、かなり以前から一元化が言われてきました。福祉的な要素の強い保育所であっても、教育的な要素の強い幼稚園であっても、子育て支援の機能をどう持つかという点では共通しています。言い換えると、子育て支援という枠組みにおいて、保育所と幼稚園の垣根はほとんどありません。つまり、より大きな意味があるのは、保育所や幼稚園の施設ではなく、そこで発揮される機能なのです。すなわち、保育の理念に行き着きます。本書では、これまでの一元化の試みと、これからの多元化・統合への道を探ります。

B6判 208頁 定価：本体1,200円＋税

既刊本

- | | | | |
|-------------------|--------------|------------------|---------------------|
| ①新しい教育要領・保育指針のすべて | 森上史朗 著 | ⑥保育者の「出番」を考える | 吉村真理子 著 |
| ②新時代の保育サービス | 柏女霊峰・山本真実 共著 | ⑦地方自治体の保育への取り組み | 山本真実・尾木まり 共著 |
| ③カウンセリングマインドの探求 | 柴崎正行・田代和美 共著 | ⑧乳幼児期の「心の教育」を考える | 阿部和子 著 |
| ④子ども虐待の理解と対応 | 庄司順一 著 | ⑨自由保育とは何か | 立川多恵子・上垣内伸子・浜口順子 共著 |
| ⑤知的好奇心を育てる保育 | 無藤 隆 著 | ⑩保育者が出会う発達問題 | 大場幸夫・前原 寛 共著 |

<以下続刊>

キンダーブックの
フレーベル館